

タイトル：農家満足度調査を利用した農業技術評価

[要約]

農業技術の評価として、実現度と期待度（偏相関係数）の観点から農家満足度調査の利用を検討した。この評価法を簡易自走式茶管理機に適用すると要改善項目が4項目あることが定量的・視覚的に明らかとなり、今後の技術改善の参考となる。

香川県農業試験場・企画経営部門・経営情報担当

[連絡先] 087-889-1121

[部会名] 営農

[専門] 経営

[対象] 工芸作物

[分類] 研究

[背景・ねらい]

農業技術が普及する原因はいろいろある。「農家満足度」もその重要な要素である。技術が広く普及した原因、農家が導入して満足している内容を深く調査・分析することが必要である。

そこで簡易自走式茶管理機（写真1）を対象に農家満足度アンケート調査（7段階評価、図1）を実施し、「実現度」＝満足項目の評価（平均スコア）と「期待度」＝総合満足度との関連度（偏相関係数）の観点から、農家満足度を視点とした評価手法を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. この管理機の長所である「必要人数（一人で作業が可能）」が期待度・実現度ともに高いほか、「操作性」「大きさ」「整枝精度」が優等項目として読み取れる。
2. 農家の期待度に対しこの機械の実現度が低い項目として、「価格」「トラブル時の体制」「走行安定性」「燃費」が要改善項目として挙げられる。
3. 農家の期待度はあまり高くもなく、実現度も低い要注意項目としては、「整備の手間」「部品の値段」「重さ」「作業時間」である。将来、期待が高まれば要改善項目となるので、農家の不満に注意しておく必要がある。
4. 農家満足度ポートフォリオ分析（図2）から以下の点が定量的・視覚的に明らかとなり、技術開発・改良時の品質機能についての「優先順位」を決めたり、「コスト配分（資源配分）」を決めるのに役立つ。
 - ・新技術のどの機能項目が、全体の満足度に効果を及ぼしているか
 - ・農家からみて、どこをよりよくすればより満足度を増すことができるか
 - ・あまり改善しなくてもよい機能項目は何か（期待度の低い項目）
 - ・直ちに改善したらよい項目は何か
 - ・全体の満足度にあまり影響しない項目は何か

[成果の活用面・留意点]

この評価方法は偏相関係数が計算できれば他の技術にも適用できる。

[その他]

研究課題名：主要園芸産地における担い手確保システムの解明

予算区分：県単

研究期間：平成10年度（平成8～11年）

研究担当者：大西智司、岡崎 力（満濃分場）

発表論文等：香川県農業試験場研究報告 第51号投稿予定

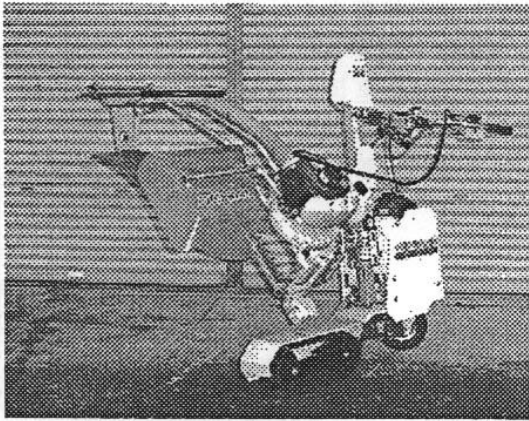


写真1 簡易自走式茶管理機

簡易自走式管理機に関する満足度アンケート様式
 以下の質問内容について満足度に○印をして下さい、記入例： やや満足の場合

質問内容	大要不満	不満	やや不満	でもな	やや満足	満足	大要満足	コメント欄 不満の場合は 記入して下さい。
通常時 (1)本体の大きさ (2)本体の重さ								
作業時 (8)管理機の操作のし易さ (9)機械の操作必要人数について (10)管理機の振動について								
使用後 (13)本体の清掃のし易さ (14)トラブル時の体制								
この簡易自走式管理機を総合的に判断してどう思われますか								

図1 農家満足度調査票（一部）

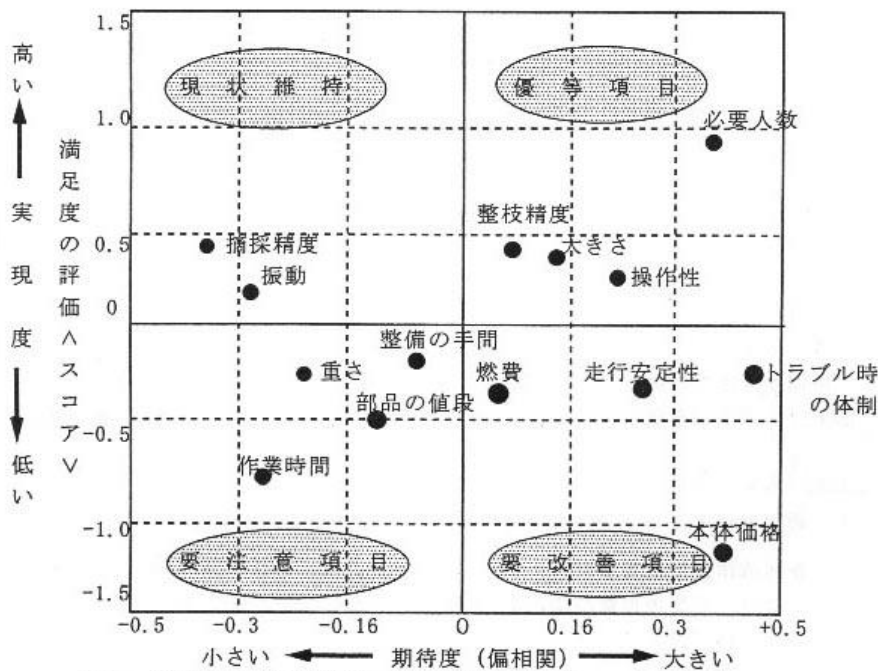


図2 簡易自走式茶管理機の満足構造（ポートフォリオ分析）

注1) 解析ソフトはブラザー工業㈱の垣宿勇氏作成Excelマクロソフト「グラフィカルモデリング」使用
 2) 調査対象：香川県内18戸の茶栽培農家（平均作付面積92a）